

学校再編

豊間根地区の進め方は

給食センター

開始へ向け準備は順調か

32年度の再編を目指す

予定どおり進んでいる

問 船越小、豊間根小、荒川小以外は山田南小への統合で合意を得た。豊間根小、荒川小に関して

うに受け取れた。今後、はっきりした形の意向集約を図るのか。

佐々木教育長

豊間根小

は、今後どのように進めるのか。再来年の再編を目指すのか、あるいは山田南小への統合を落ち着かせた後で豊間根地区を進めるのか。船越小に関しては、はっきりした取りまとめをしないまま、合意は得られないが、新校舎完成後の統合には賛成意見が多いとの話にしてしまおうとしているよ

と荒川小との再編は説明会において、両小学校から要望があったことから協議の場を設けていき、32年度の再編を考えている。複式学級の解消は、学校規模適正化検討委員会で提言されたことなので、早期に実現できるように努めていく。船越小に関して3回目の説明会において、再編について

は合意しないとの声が多かったことから、現時点では、再編を進めることはできないと考える。今後は、保護者や住民の声を聞く機会をつくりながら、理解を得る方法を考える。

問 学校給食の開始まで1年と少しとなった。運営方法、給食費の徴収方法など、決めなければならぬことが多いが、予定どおり進んでいるか。

また、給食センターの建設工事は順調か。

教育長 30年5月に学校給食センター運営等検討

委員会設置要綱を策定し、これまで3回の委員会を実施している。必要に応じて、各種検討部会を設置しながら協議を進めており、予定どおり進んでいる。建設工事は工程どおり進んでいる。

三鉄定期代補助の見通しは

補助継続に努める

問 三陸鉄道の開通が近づいてきた。来年度からは、高校生が通学に利用すると思われる。再来年までは、県の補助で定期代が半額となるが、その後の見通しは。

佐藤町長 県の通学定期

補助は32年度までだが、33年度以降も継続されるよう要望していく。継続されない場合は、33年度から36年度までは、JRからの移管協力金による激変緩和処置が講じられる見通しである。



黒 沢 一 成 議 員
(無 所 属)



建設が進む給食センター (31年1月)